

(2024年)

令和6年4月採用予定

事務職員(情報職)の申込受付中!

# 守口市職員採用試験

応募締め切り

8月18日金

果敢にチャレンジ  
する人を大募集!

詳しくは  
こちら



## 今月号の表紙



去勢・不妊手術済みであることの目印として、耳先を桜の花びらの形にカットした「さくらねこ」。

市内の公園で、偶然見かけることができました。とても人懐っこく、さまざまなポーズの写真を撮らせてくれました。

さくらねこについては、6ページから詳しく特集しています。ぜひご覧ください。

## 目次 広報もりぐち8月号 Vol.1523

- 2 守口市職員採用試験
- 3 守口市おでかけ応援商品券
- 4 令和5年度6月補正予算 主要な施策
- 6 さくらみみは大事なし
- 10 あなたのお悩みコミュニティソーシャルワーカーに相談しませんか。
- 12 錦コミュニティセンター新館オープン
- 13 守口市市民まつりを開催 他
- 15 Topics 市の情報 大阪880万人訓練 他
- 16 8月の市民無料相談
- 17 Information お知らせ / 講座・講習 / 募集 / 健康 / あえる
- 28 Navigation 施設案内・掲示板
- 31 Library 図書館おすすめ本の紹介 / イベント情報
- 32 Children corner 子育て・子育て講座 / イベント / もりもりちびっ子
- 34 Photo news 若者と考える「もりぐち」 他
- 35 広報誌アンケート&プレゼント 他

兼社

Instagram



Twitter



Facebook



LINE



YouTube



市ホームページ



マチイロアプリ



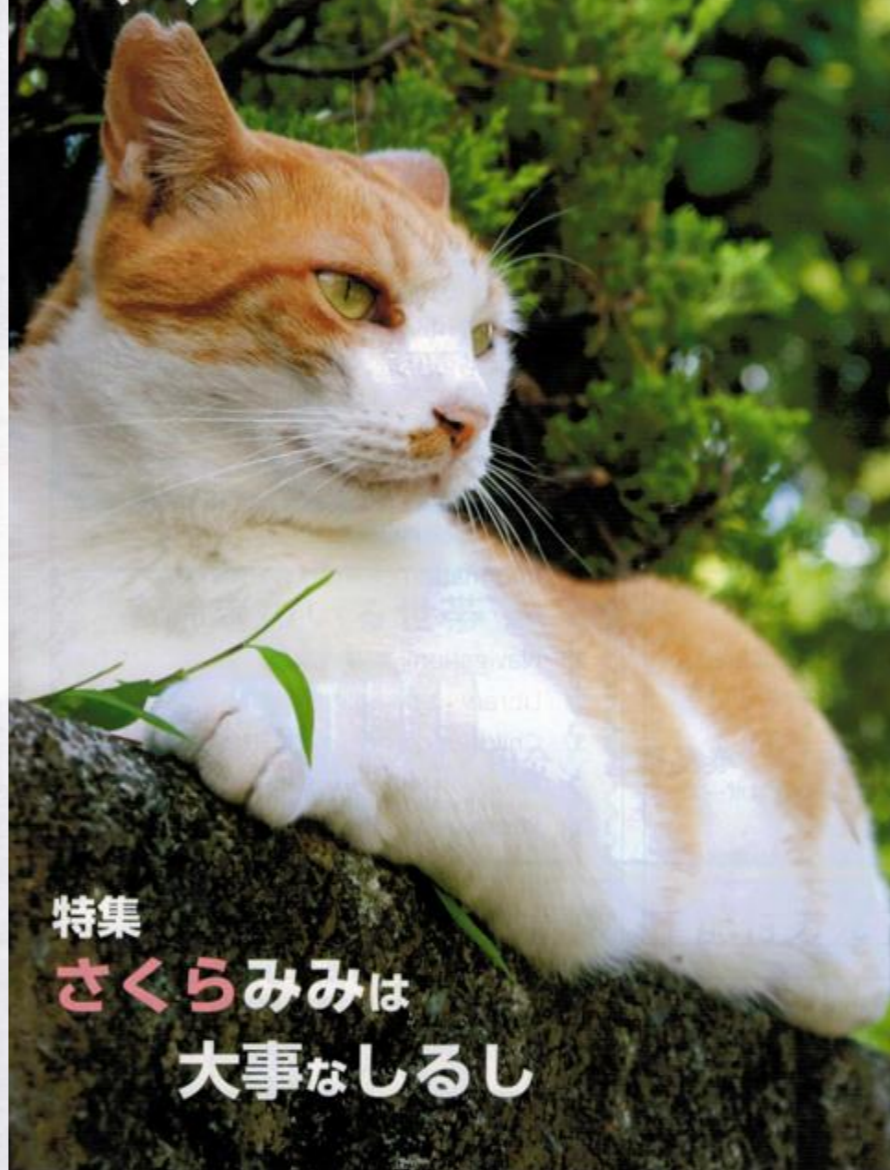
# Moriguchi

まちの行政情報誌 Vol.1523

広報もりぐち

2023

8



特集

さくらみみは  
大事なし

## さくらねこは不妊手術済みのしるしに 耳先をカットした猫のこと

不妊手術をしていないことが原因で野良猫たちが増えていく。それは猫にとっても不幸なことであり、地域の人たちに迷惑をかけることにも繋がります。そうならないように、ボランティアさんが猫たちを獣医さんのところに連れて行き、不妊手術をしてもらいます。この手術のとき、麻酔中の痛くない間に獣医さんが耳先を桜の花びら形にカットして、手術済みのしるしにするのです。このメッセージがないと、手術済みの猫がもう一度保護され、麻酔や開腹手術を2度される危険があるので、とても重要なしるしです。



## 猫を守る「TNR活動」とは？

TNRとは、野良猫の繁殖を抑え、数を減らすことを目的に、ボランティアにより猫を捕まえて(Trap)、手術を行い(Neuter)、元居た場所に戻す(Return)活動です。



## TNR成功のコツは「すぐやる / 全部やる / 続ける」

去勢・避妊手術をした猫は、前立腺や卵巣・子宮などの病気のリスクが少なくなります。また、鳴き声やマーキングなどの問題行動がなくなったり、オスの攻撃性が低下するなどさまざまなリスクを軽減できることから寿命も延びる傾向があります。TNRを率先して行った地域では子猫が生まれなくなり、糞尿の匂いも激減することから、地域の人や活動に取り組む人との関係性も好転しています。TNRの成功のコツは「すぐやる/全部やる/続ける」。この3つを着実に行えば、野良猫に関する問題は確実に解決に向かいます。

## 猫は1年間でどのくらい増えるの？



©公益財団法人どうぶつ基金

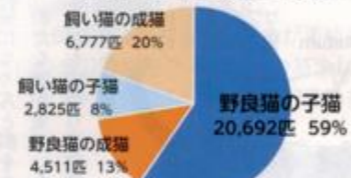
人間と比べると猫の成長はとても早く、生まれて4カ月もすれば子どもが産めるからだになり、妊娠して2カ月で4〜6匹の子猫が産まれます。

猫は交尾するとかなり高い確率で妊娠するため、多ければ年に3回出産することもあり、その子猫がさらに孫猫を産むと想定して計算すると、1匹の母猫から1年間に産まれる子猫の数は、最大で50匹にもなります。

## 子猫はどのくらい殺処分されているの？

環境省の調べによると、令和3年度に全国の保健所に引き取られた猫の数は合計34,805匹。そのうち59%にあたる20,692匹が産まれてまもない子猫で、1年間に7,407匹(全体では11,718匹)が殺処分されています。家猫の放し飼いや繁殖スピードの早さから野良猫の数が自然に減っていくことは難しく、1匹でも多くの猫に不妊手術を施すことが、猫の殺処分を減らす有効な手段なのです。

## 引き取られた猫の内訳



環境省「犬・猫の引き取り及び負傷動物の収容状況(令和3年度)」より

原著作者「公益財団法人どうぶつ基金」

# さくらみみは 大事なしるし

皆さんは耳に切れ目の入った猫を見たことがありますか？実はこれには意味があるんです。

耳の切れ目は去勢・不妊手術をしていることを表す「しるし」です。去勢・不妊手術をすると子猫は産まれませんが、また、雌を奪いあう雄同士のけんかやマーキング行為が激減します。

地域に暮らす猫に去勢・不妊手術をして繁殖を抑える活動をTNRといいますが、TNRを続けてゆくと自然に頭数が減り、猫による問題は確実に解決に向かいます。

今回の特集では、地域で暮らす「さくらねこ」にスポットを当てて、TNR活動について考えていきたいと思います。



- ①市内の公園で見かけたさくらねこ
- ②猫トイレと餌場
- ③捕獲は真夜中にも行います
- ④おいしそうに餌を食べてます
- ⑤さくらねこどうぶつ基金のパンフレット
- ⑥手術後のリターンで猛ダッシュ
- ⑦捕獲器の使い方を説明してくれました(②、③、④、⑥はボランティア提供)

**地域の皆さんにひびく**

私たちは不幸な猫が1匹でも減ってくればと思いい活動をしています。私たちはただ餌をやっているわけではありません。餌をやるにはきちんと意味があるのです。今回の特集をきっかけに、皆さんに「さくらねこ」や「TNR活動」のこと、そして私たちの活動をもっと知ってもらい、もっと理解してもらえたらいいと思います。

また、今回話した地域猫活動はもちろん、猫の譲渡会などの活動もしていますので、今後を見守っていただけたらと思います。

**自治会による補助も**

TNRのどうぶつ基金による助成は手術に関する費用のみ。それ以外にも、猫を捕獲するための餌代、病院への搬送費、入院費などの費用がかかります。今までは、手術代以外の費用はボランティアで負担しているのが現状でした。自治会に相談したところ、手術以外の費用も全額自治会で補助していただけることになりました。近所の皆さんに猫に去勢・不妊手術をすることを伝えると、とても喜んでくれました。今回のように、TNRに対する理解や補助が、他の自治会にも広がってほしいと思っています。

### 守口市ではTNR活動を支援しています

市では、公益財団法人どうぶつ基金(行政枠)に登録してさくらねこ無料不妊事業を実施しています。市では、「守口市猫不妊・去勢手術費補助金事業」と併せて令和3年10月から公益財団法人どうぶつ基金が手術費などを全額負担する「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加し、同年11月1日から公益財団法人どうぶつ基金「さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)」で発行している「さくらねこTNRチケット」の交付窓口となり、TNR活動を行う市民を対象にチケットを交付しています。詳しくは環境対策課までお問い合わせください。

詳しくはこちら→



環境対策課 ☎06-6992-1511



## さくらねこを知ってほしい

「さくらねこ」とは去勢・不妊手術をしたしるしに耳の先をカットした猫のことです。今回は、TNR活動やボランティア、里親探しなど、猫に関わるさまざまな活動をしているボランティアの皆さん、自治会の皆さんにお話を聞きました。



ボランティアと自治会の皆さん

**TNR活動を始めたきっかけ**

近所の人や野良猫に餌やりを始めたことで糞尿による被害が出始めたことがきっかけです。最初は猫除けの機械を設置したり、自分の家に被害が及ばないようにすることで精いっぱい、猫に去勢・不妊手術をすることや、そのための捕獲の方法も分からないという状況でした。困っていたところ、猫のTNRのボランティアをしている人から、去勢・不妊手術や捕獲の方法などを教えてもらうことができ、自治会の有志で活動を始めることになりました。

TNRとは  
Trap 捕獲して  
Neuter 不妊手術して  
Return サクラ耳カット元の場所に戻す



**餌やりはTNRに必要不可欠**

12月〜3月の期間で13匹の猫の去勢手術・不妊手術を行うことができましたが、実は10月から準備をしていました。地域にどんな猫が何匹住んでいるか、どの場所に集まるのかを調査し、捕獲の時間や捕獲器を置く場所を決めました。また、飼猫とは知らずに捕獲したり、不審者と間違えられないようにTNRの告知文を地区の各戸に配布し、住民の協力を得る取り組みも行いました。

捕獲を成功させるために一番重要なことは「餌付け」です。すなわち、時間と場所を定めて餌やりを行い、確実に餌を食べられる状況にしないと捕獲はできません。TNRでは餌やりも活動の一環であり、とても重要な意味があるのです。

そして、リターンして終わりではなく、手術後にちゃんと餌を食べに来ているか、新たな猫が来ていないかを調査するために餌やりは継続して行っていく必要があります。